



四国愛友会会報

第107号
 平成11年7月

目次

NTTの動き	2
新生NTTスタート	2
NTT平成10年度決算	2
「ありがとう&ヨロシク」	
キャンペーンを実施中	3
コンピュータ西暦二〇〇〇年問題への取り組み	3
お知らせ	4
第二十八回四国地方本部総会を開催	4
日本電信電話公社採用職員に対する	
叙位・叙勲の適用について	4
会員名簿掲載内容の修正について	5
会費の早期納入についてお願い	5
支部日より「NTT商品の販売支援	
販売情報奨励金制度の実施」	5
春の叙勲	5
健康のページ（高血圧の自己管理）	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
私は今	8
テルウエルだより	12
しまなみ海道99バスツアー実施	12
男の料理教室開催	12
史跡を訪ねて彦根へ	12
県内ボランティアグループ	
訪問ボランティア実施へ	13
高齢者に対する叙勲	13
サークルだより（民踊すみれ会・えひめ歩こう会）	14
俳句・川柳	15
敬弔・物故者叙位叙勲	15
表紙の言葉	14
編集後記	15

NTTの動き

新生NTTスタート

NTTでは、今年一月二五日、会社別(持株会社、東・西日本会社、長距離国際会社)移行本部を設置し、再編に向けた諸準備を進めてきましたが、五月の再編実施計画の認可(郵政省)、六月の定時株主総会での営業譲渡承認、各移行本部の会社設立総会等を経て七月一日、新生NTTがスタートしました。

(3ページの組織図参照)

これにより、① 電話の独占性に起因する規制問題に終止符を打つとともに、② NTTグループが持株会社を中心に、マルチメディア時代の、情報流通市場をリードしていく体制固めと、更には、③ 国際通信事業への進出により、通信のグローバル化にも対応できることとなったほか、④ 支社の廃止により、「支店―支社―本社」と経由していた意思決定が、「支店―本社」で行うことができ、一層お客様ニーズに即応できる体制となりました。

愛媛・香川・徳島・高知支店では、県内全域の経営戦略、サービス・営業戦略の決定やインフラ整備(基盤設備の整備)等にも一元的に対応でき、各県の支店を中心とした営業体制が名実ともにスタートしました。

また、四国電報営業支店、四国専用サービスセンタ等(3ページの組織図で細線で囲んだ部分)は、西日本電信電話(株)、又は、NTTコミュニケーションズ(株)の直轄組織としてスタートしております。

NTT平成10年度決算

単独では二年連続減収・減益
連結はドコモ効果で大增収益

NTTは、五月二十六日、平成10年度の決算を発表しました。それによりますと、NTT単独では

売上高は、ISDN、高速デジタル、OCN等、情報流通ネットワークの分野で着実に伸びていますが、携帯電話等移動系ネットワークの拡大に伴う、加入電話の通減、長距離通話の値下げ、競争の激化、更には景気の低迷等により、対前年度比一千八百五十三億円(二・九%)も減少し、六兆一千三百七十億円、二年連続の減収となりました。

費用面では、NTT-TE、NTTコムウェア社等への委託業務の拡大等により、物件費が大幅に増加しましたが、人員削減による人件費の減少、コムウェア等の分社に伴う資

▽純粋持株会社とは

自らは事業を営まず配当を収入とするが、株式の保有を通じて傘下に事業会社を持ち、企業グループの中核として、経営を支配する会社。

持株会社の設立は、産業の独占体制につながるとして禁止されていたが、平成九年、規制緩和の一つとして独占禁止法が改正され、解禁された。

グループ全体の戦略立案や事業多角化のリスク分散ができるなど、合併と同じ経営効果を発揮することができる。

大企業では、NTTが純粋持株会社の第一号となった。

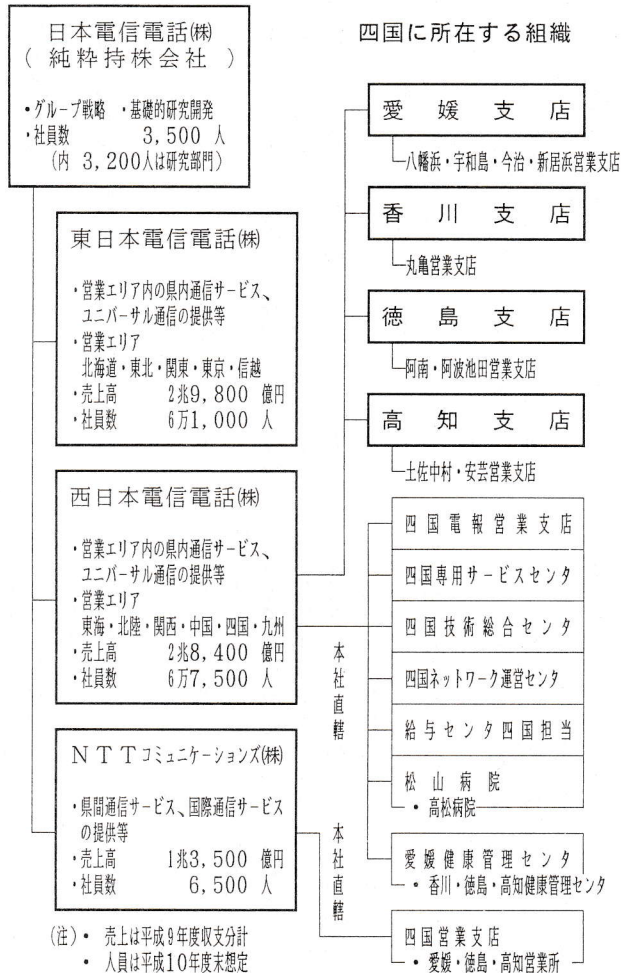
NTT平成10年度決算

単位:億円

区 分	決 算 額		売 上 高 内 訳 (主なもの)			
	単 独	連 結	サービス別	売 上 高	対前年増減額	対前年増減率
売 上 高 対前年増減額 対前年増減率	61,370 ▲1,853 ▲2.9%	97,296 2,796 3.0%	電話収入	40,007	▲4,530	▲10.2%
			(再)基本料	16,805	▲461	▲2.7%
営 業 費 用 対前年増減額 対前年増減率	58,931 ▲205 ▲0.3%	88,594 2,157 2.5%	(再)ダイヤル 通話料	19,203	▲3,526	▲15.5%
			ISDN 収入	5,960	1,844	44.8%
経 常 利 益 対前年増減額 対前年増減率	2,373 ▲1,192 ▲33.4%	6,486 480 8.0%	データ伝送収入	1,116	287	34.7%
			高速デジタル収入	6,400	342	5.7%

産減による減価償却費の減等もあり、対前年度比二百五億円(〇・三%)減に抑えられており、この結果、
経常利益は、対前年度比一千九十二億円(三十三・四%)減の、二千三百七十三億円

NTT (本体) 再編後の組織図



となり、二年連続の減益となりました。

連結では
NTTドコモ等三十三の子会社を含めた連結決算では、ドコモ社の好調に支えられ、売上高が、二千七百九十六億円(三・〇%)も増え、九兆七千二百九十六億円となり、経常利益は、四百八十億円(八・〇%)も増え、六千四百八十六億円を計上し、五年連続の増収増益となっております。

なお、当期経常利益六千四百八十六億円のうち、四千六十六億円がNTTドコモで、ドコモ社の経常利益が、NTT本体を始めて上回る等、その快進撃ぶりがうかがえます。

「ありがとう&ヨロシク」
キャンペーンを実施中

NTTは、七月一日の再編を機に、これまでNTTを「ひいき」にしてくれたお客様に感謝し、あらためて「新生NTTをヨロシク!」という「ありがとう&ヨロシク」からおねがいします。キャンペーンを六月一日から七月末まで実施しております。

- ① INS64と通信機器、割引サービス等を組み合わせたパッケージ販売の推進。
- ② 各種通信機器とネットワーク商品を組み合わせた「お得で便利な電話シリーズ」の提供。

「コンピュータ
西暦二〇〇〇年問題への取り組み」

③ その他の新パッケージシリーズの提供を3本柱とした拡販活動となっております。

NTTにおいては、このキャンペーンを、情報流通企業への脱皮と早期黒字化(西日本会社は赤字スタート)への第一歩とするため一層の拡販を図りたいとし、支店・販売代理店・協力会社(NNTEE、通建会社等)の全社員が一体となり、販売コンテストを行う等取組を強めております。

期間中に、INSネット64へ加入されたりホームファクス等を御買上いただくと、四千名(西日本エリア)に素敵な商品が抽選により当たりますので、この機会に是非、ご検討くださるようお願いいたします。

お問い合わせは、局番なしの「一一六番」または、お近くのNTT支店・営業所へ。

NTTでは、いわゆる「西暦二〇〇〇年問題」を、極めて重要な経営課題と認識し、積極的に対応を進めてきました。

NTTの場合、電気通信サービスを構成するネットワーク設備等は、原則四桁で歴年処理を行っているため、基本的には問題は発生しません。信頼性確認のための、模擬試験も既に完了し、問題は発生していません。

また、社内業務システムについても、すべての対応を完了しております。

NTTの西暦二〇〇〇年問題対応については、一九九五年三月に社内調査を開始、同年一月には全社的に「二〇〇〇年問題対応プロジェクト」を発足させ、更に、一九九七年(5ページへ続く)

平成 1 1 年度予算書 (一般会計)

〈収入の部〉 (単位: 千円)

科 目	金額	記 事
前期繰越金	33	
仮 受 金	87	繰越分
会費等収入	844	支部から
分担金収入	1,180	NTTから (総会費・会報費・名簿費の補助)
配付金収入	6,078	本部から (人件費、運営補助費、評議員会費)
総 会 収 入	60	祝い金
広 告 収 入	1,115	名簿、会報に掲載
利 息 収 入	1	
その他収入	1,010	傷保協力費、公職調査等
合 計	10,408	

〈支出の部〉

科 目	金額	記 事
事 業 費	2,110	会報、名簿費、慶弔見舞金
会 議 費	1,951	総会費、本部理事会、評議員会、事務局長会議、地本理事会、編集委員会等
事 務 費	4,874	給与、通勤費、用品費、通信費、コピー機賃借料等
会費等支出	1,084	支部へ (運営補助費)
その他支出	205	支部へ (傷保協力費)
支 出 計	10,224	
当期収支差額	184	仮受金の繰越分を含む
合 計	10,408	

◎特別基金の繰越額は、965 千円です。

お知らせ

第二十八回四国地方本部総会を開催

電友会四国地方本部は、四月二十二日、第二十八回総会を、NTTプラザ松山で開催しました。

西本本部長の挨拶のあと、藤原NTT理事愛媛支店長、農本テルウエル愛媛支部長、小川電友会本部長から祝辞をいただき議事に入りました。

徳島の児島代議員に議長をお願いし、芳野理事が平成十年度事業報告を、安部理事が収支決算報告を、また、木内会計監事が会計監査報告を行い、原案どおり承認されました。続いて、平成十一年度の事業計画が審議され次のとおり決定されました。

NTTの組織再編により、電友会をめぐる

環境は大きく変わりますが、電友会活動の本理念は少しも変わるものではありません。全会員が力を合わせ、施策の推進をはかるようお願いします。

1. NTT (グループ会社を含む) に対する支援活動

- (1) 相互の連携を強化するため、役員等による連絡体制の再構築を図ります。
- (2) 各種イベントやイメーリアップ作戦、環境クリーン作戦、無人施設の管理 (除草等) ・点検作業などへの協力・支援を行います。
- (3) 非常災害時の支援体制等、OBで実施可能な作業について検討します。
- (4) マルチメディア普及活動に協力するため、核要員の確保・育成を図るとともに、核要員による会員への指導活動を継続実施します。

(5) 会員の地域における活動状況等を調査し、NTTの支店等との連携強化に生かします。

2. 会員が生き甲斐を感じる施策等の推進

- (1) 会員のボランティア活動の顕彰に努め「電友会ボランティア活動賞」候補として本部へ推薦するとともに、その活動状況を会員に紹介します。
- (2) 会報、会員名簿によるサークル活動の紹介や電友会主催の行事などを実施して会員相互の連携強化を図るとともに、サークル間の交流の場づくり等について検討します。
- (3) 電気通信共済会が行う社会福祉活動については、その周知に努め、各種行事への参加を促し、そこがOBの交流の場となるよう配慮します。
- (4) 年金問題については、引き続き情報提供等に努めます。
- (5) 電友会専用の三保険 (傷害保険・生命傷害セット保険・がん保険) については会報等で周知します。

3. 会組織の拡充

未加入者 (特に女性) に対し、積極的に加入勧奨し、一人でも多く仲間を増やすよう全会員が努力します。

日本電信電話公社採用職員に対する叙位・叙勲の適用について

電電公社・NTT退職者の、叙位・叙勲については、これまで、「官歴を有する職員」が対象となっておりましたが、関係法令の改正により「日本電信電話公社採用職員」にも適用されることとなり、平成十一年四月一日

から実施されております。

会員名簿掲載内容の修正について

平成十一年度発行（十月発行予定）の会員名簿の掲載内容の修正作業等をはじめております。

十年度版発行後、住所・電話番号等が変更（市外局番の変更を除く）になった方や、掲載内容に誤りがあった方で電友会への通知が未了の方は、八月一五日までに各県の事務局へご連絡ください。

会費の早期納入についてお願い

平成十一年度の会費について、六月末現在で、未納の方が五百五十名（四国の会員の十三％）おります。会費は、会活動の源泉です。ごめんどうでも、早期納入に協力くださるようお願いいたします。

送金される方は、郵便局の「払込取扱票」（愛媛・徳島・高知については、総会案内送付時に同封してお届けしておりますが、手元がない場合は、郵便局でもらって下さい。）をお願いいたします。

なお、郵便振替口座番号は次のとおりです。
 愛媛 ○一六五〇〇〇一三六四〇
 香川 ○一六七〇〇〇二一六七七
 徳島 ○一六六〇〇〇一八四六八四四
 高知 ○一六八〇〇〇一五三〇〇八九

春の叙勲
 勲四等瑞宝章 赤松 功様（松山市）

支部だより（愛媛）

NTT商品の販売支援
 販売情報奨励金制度の実施

NTTおよびNTTドコモ商品の販売支援を図るとともに、販売情報を提供した会員に「販売情報奨励金」が支払われる制度で、七月一日から実施します。

具体的には、愛媛電友会とNTTダイナミックテレマ四国支店（旧NTTパステル）で「販売情報取次契約」を締結し、会員からの販売情報を電友会経由でダイナミック社へ提供し、販売契約が成立した場合、一定の奨励金（商品別に定められており、主なものとは表の通り、表以外のものは電友会へおたずね下さい）が情報提供者に支払われるもので、奨励金は三月分をまとめて、電友会から、情報提供者に送金することとなっております。INSネット64、携帯電話、その他ネットワーク商品等の販売情報は、もれなく愛媛電友会へご連絡下さるようお願いいたします。

▽連絡先 ☎ ○八九一九三六一二〇二三

販売情報奨励金

区分	商品名	奨励金(円)
N	プッシュ回線	700
	キャッチホン・テレフォイス	700
	ボイスワープ	2,000
	ナンバー・ディスプレイ	2,000
	INSネット64	7,000
T	テレッセ	14,000
	OCNダイヤルアクセス・ライト	1,800
ドコモ	携帯電話	5,000
	PHS	2,000
	ポケベル	4,000

（3ページから）

十二月には、NTTがお客様に販売したシステムに対する「対応プロジェクト」もあわせて発足させる等万全を期してきました。

NTTでは、今後、さらに対応の確実性を確保するため、「危機管理計画」を策定し、これに基づき、二〇〇〇年四月まで「特別管理体制」を設ける予定であります。

▽「西暦二〇〇〇年問題」とは

コンピュータシステムの年号処理を、西暦年の下二桁のみを対象に実施してきたため、西暦二〇〇〇年を一九〇〇年と見なし、誤動作をおこし、次のような問題が生じる。

- ① 二〇〇〇年一月一日（土）を、一九〇〇年一月一日（月）と誤り、週末と週始を間違える
- ・ 一〇〇〇年前に戻る
- ② 二〇〇〇年は閏年であるが、一九〇〇年は平年と誤り、
- ・ 二月二十九日が無い
- ・ 二月二十八日以降、一日づつずれる

なお、NTTの対応やノウハウについては一九九八年十二月からホームページを通じて公開しておりますので、是非ご覧ください。

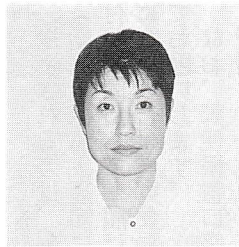
〔URL〕 <http://infoc.ntt.co.jp/y2k>



健康のページ

高血圧の自己管理
N T T 松山病院

第一内科部長
中村 尚子



読者の中にも高血圧の薬をのんでいる方は多いと思います。

高血圧に関する研究が進んで、軽度の高血圧でも、脳、心臓、腎臓といった臓器にかなりの悪影響を及ぼすことが明らかとなり、「高血圧」は徐々に低く定義されるようになりました。

一九九七年に発表された米国合同委員会報告(JNC-VI)では、高血圧は収縮期血圧二四〇mmHg以上、かつ/または拡張期血圧九〇mmHg以上と定義され、一三〇〜一四〇mmHg/八五〜九〇mmHgが「正常高値」とされました。

この分類ですと日本における高血圧患者数は三千三〇〇万人と推定され、成人の三人に一人が高血圧ということになります。

このようにありふれた病気ではありませんが、高血圧は動脈硬化を促進し、脳卒中や心筋梗塞など、後遺症の残る余病を併発する恐ろしい病気でもあります。

自分の病状をよく知り、上手に管理しなければなりません。そのために必要なくつかの方法、注意点を挙げてみたいと思います。

(1) 高血圧のタイプを知る

自宅に血圧計を備えましょう。指や手首で測るものより、肘の上で測るものが正確なようです。起床後排尿を済ませて座った姿勢で測るのが基本です。あとは日中、寝る前などに時々測ってみてください。

正常では夜間の血圧は昼間に比べて低くなりますが、高血圧の人では夜間もずっと高いままの人がいます。

こういうタイプをnon-dipperといいます。一方、夜は昼より下がるタイプをdipperといいます。non-dipperの方がdipperより臓器障害を来たしやすいという報告があります。

自分の高血圧のタイプを知るとは治療にも大変役立ちますので、病院に行ったときだけ血圧測定をするのではなく自宅でも測りましょう。二四時間の血圧をモニターする測定機を用いるとさらに血圧変動の様子がよく分かります。興味のある方は当院でご相談ください。

また、同じ高血圧でも塩分制限が非常に効果を上げるタイプ、自律神経を鎮めてやると良く降圧するタイプなど色々なタイプの高血圧があり、それぞれに合う薬も違います。

(2) 継続することの重要性

しばらく血圧が下がっていると、自己判断で薬を止めてしまう人がいます。

「薬を止めても血圧は落ち着いている」と油断していたら突然びっくりするほど血圧が高くなってしまった・・・ということがしばしば見受けられます。

高血圧は薬で根治できる病気ではないので「高血圧の体質は、一生涯コントロールが必須」と思ってください。そのための手段の一

つが薬です。もちろん塩分制限や運動療法で自然に降圧すれば薬など要らなくなる場合もあります。

大事なことは、自分でかかって判断しないで主治医と相談しながら治療を続けることです。

(3) 合併症や薬の副作用に気を配る

初めにも述べたように、高血圧は合併症が怖い病気です。病院で薬だけ貰って漫然とのみ続けるだけでなく、高血圧用の定期検診をお勧めします。

例えば検尿(腎臓のダメージを見る)、心電図、心エコー(心肥大の程度を見る)、頸部エコー(頸動脈の動脈硬化や血栓の有無を見る)です。

一方、降圧薬を始めようとする時、多くの患者さんが口にされることは、薬の副作用に対する不安です。しかし、いたずらに副作用を恐れて高血圧を放置し、合併症で倒れてしまつては何にもなりません。

薬をのんで気づいたこと(発疹などの皮膚症状、ほてり、空咳など)があれば早めに相談してください。また、自覚症状に乏しい副作用(肝機能異常など)は血液検査で分かります。

のみ始めて一〜二か月したら一度採血してみるのが良いでしょう。万一副作用が出ても速やかに対処して薬を変えればよいのです。降圧薬にはたくさん種類があるので、

最後にもう一つ。できたら自分がのんでいる薬の名前は憶えるようにしましょう。高血圧治療の責任者は主治医とあなた自身です。

ドキュメント

人生さまざま・後半生を生きる

医療現場一筋に精進五十年

国立公園「屋島」のふもとに古高松（現在高松町）がある。その旧道に沿った一角に瀟洒な住宅があり、そこが矢野静雄さんのお宅だ。

矢野さんは、昭和二十三年旧制の工業学校を卒業、当時の通信診療所にX線技師として採用され、退職までの四十年間、N.T.T社員の健康管理に努める傍ら、香川地域の放射線技師の組織作りや後輩の指導に尽力、昭和六十三年に退職した。

診療所時代は、所長以下たった八人で香川県内の電電職員健康管理を一手に引き受けていた。事務長が配置されていたものの、X線技師である矢野さんは、給与計算や文書事務も担当した。

高松に通信病院を設置したときの生々しい裏話や病院初代の分会長を引き受けた話、医療職員の処遇改善を求め本社に直訴したことなど。矢野さんの思い出は尽きない。

また、第五福竜丸が死の灰を浴びたことや防護装置が不備だったこと等がきっかけで、医療法で防護規則、身分法が確立されたが、そのため「放射線技師」の資格取得の受験を要することとなった。

戦時中の勤労働員で、飛行場建設や化学工場に駆り出され、勉強どころでなかったことから、大変苦労したが猛勉強で見事にパスした。

さらに、医療技術の分野にも新しい知識が

要求されるようになり、X線撮影だけでなくラジオアイソトープを使用した放射線診断や治療が始まり、再度「診療放射線技師」の国家試験を昭和四十四年に受けた。

その間に、銀行の支店長の兄が噴門癌のため四十六歳の若さで亡くなったが、そのショックにめげず却って胃についても猛勉強をした。忙しいなか放射線技師の組織化にも精力的に取り組み、議員等への陳情や医師会との折衝を重ね、中・四国で初めて放射線技師会の法人格取得に成功した。

特に感心させられたのは、放射線技師としての仕事に対する矢野さんの取り組みなり心掛けである。

列挙すると「法人格をとって地位の向上や処遇の改善を目指すのみではなく、新しい技術・知識の習得に力点をおくこと」「正確な情報をドクターに入れるのが目標で、技術的なことも重要だが、それより心が大切であること」「精神的に緊張している患者や被検者をリラックスさせるなどのちょっとした気遣いが大切であること」。

これこそ今盛んに言われているインフォームドコンセントの実践そのもので、お客対応や社会生活にも言えることである。

退職後は、四国では初めてという健康診断・人間ドック専門の会社に招聘されて会社の創業から関わった。

いわば「出前人間ドック」とでも言うもので、心電図やエコー、X線胸部・胃部直接撮影装置のほか、眼底カメラや子宮癌検診の装置まで設置した大型バスに、医師、放射線技師、臨床検査技師、看護婦に運転手が乗り込み、四国・中国・近畿をエリアとして東奔西走した。

現在は、この検診車も六台に増え、データもコンピュータ処理となってフル稼働をしている。

巡回する企業も、松下・東芝・サンヨー等のグループ、日生・住友の生保関係からNHK、大手銀行、大手スーパーと様々な企業から健康診断や人間ドックを請け負っていたため、今日は神戸、明日は山口などと、日曜の晩に出発して帰るのは金曜日の晩というハードな生活を何年も続け、その結果体調を崩した。

現像しないと分からないので、失敗しても移動中の巡回ドックでは再撮影が出来ない。そのため神経をすり減らし、さらにチームワークのための気配り、仕事の疲れとストレスから酒量も増え慢性の脾臓炎になった。

六十九歳になった現在は、第一線から離れ顧問として時折応援に出る程度。

これらの長い間の医療現場での活躍と、放射線技師会をはじめとする関係団体への貢献に対して、数々の感謝状や表彰状が贈られており、平成五年には県知事表彰も受けられ、今年には勲五等瑞宝章が授与された。

応接間のガラス戸棚には、茶碗や盃などが並べられており、時間があれば陶芸に親しまれているとか。さらに、玄関先の壺は光風会県展等に何回か入選されている奥様の作品。別棟には炉が据えられた立派な工房もある。

美しい草花や作品に囲まれ、仲良く陶芸に親しむ矢野さんと奥様の姿に、人生を精一杯悔いなく生きてきた人だけが持っている安らかさを感じさせられた。

（資延編集委員 記）

私は今

◇ 大石 雅士 (高知市)

毎日が休日になって早十一年。何とか体調を整え乍ら月に数日、地区の福祉会館の管理人を務め、気ままに過ごしています。

健康維持にと始めた自転車ツーリングが面白く、今は、その虜になっています。長年仲良くして来たアルコール類と、この頃あまり親しくしていないのも、健康(自称)の一要因かも知れません。

老朽劣化、あちこち、がたつく身体を勞りつつ、まだまだ元気、頑張ります。

◇ 大西日出夫 (琴平町)

NTT、第二の職場と二十数年の単身生活にピリオドを打ち、二年半が過ぎようとしています。

しばらくは、これまでのライフスタイルと空白のスケジュール表に戸惑いを感じながらも、まず健康第一と近くのごんびら裏参道を万歩計と歩行したり、町のふれあい農園での野菜作りに励んでいます。

また、健脚大会、ソフトバレー大会、カラオケ発表会等に積極的に参加し、身心両面にプラスになるよう努めています。

◇ 越久田保之 (徳島市)

兎烏匆匆八十路の坂を越しました。

聊か度忘れも激しさを増してきましたが、未だ一五〇戸余りの町内会長などをして、住みよい新しい町づくりの一翼に微力ながら努めております。

下手なゴルフも出来る限り続けたいと八〇

会などに参加しております。

併し、体力の衰えは、気力に勝てず悪戦苦闘しながら頑張っている昨今です。

何れもボケ防止、健康維持に・・・皆様の益々のご健勝をお祈りします。

◇ 川村 陽惟 (伊野町)

ビル管理保守をしています。皆様お元気ですか。

NTT高知技術センターを退職して早いもので十年が過ぎました。平成九年五月より、日本メックス(株)NTT札幌ビル・メックスセンターで再度ビル保守で勤務しています。

一年間失業中の時、歩く事が少ないため、足腰が弱りましたが、働きたして健康を取戻しました。休日は、野菜作りです。草作りの名人で、草引きに追われています。

これからも健康で過ごしたいと思えます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

◇ 日下 右二 (徳島市)

退職後は、以前から続けていた教会と付属幼稚園の事務に少し奉仕しています。

必要にせまられ始めたパソコンがやみつきとなり、データベース、表計算ソフト利用から、最近ではデジタルカメラ、そしてDTM(コンピュータミュージック)にのめり込んでいます。

退職直後には、妻とよく旅行に出かけましたが、最近では、小学四年になる孫のキャッチボールやファミコン相手となって惚け防止に努めています。

◇ 斎藤 治明 (徳島市)

退職後、第二の職場NTTドコモで六年間

勤め、三年前に退職しました。

在職中から心配していた関節リウマチが退職後次第に悪化、健康維持に始めた散歩もまなならず。肥満から来る糖尿病、食事療法で今では体重も幾分か減少。歩行も少しは楽になり、二度目の四国八十八カ所に、別格霊場の二十カ所を加えたお参りを始めています。

これからも、不治の病と共に余生を楽しく送りたいと思っています。

◇ 澤井 正 (坂出市)

退職して十年目に入りましたが、お蔭様で健康で過ごして居ります。

趣味で栽培しているビワ・桃の袋がけ、イチゴスイカウリ等の植え付け、サクランボ・柿・ブドウ・ミカンなど、四季の果物を植え除草・施肥・薬剤散布の作業がありますが、手作りの農作物を楽しんで居ります。山の中ですがお立ち寄り下さい。皆皆様のご健勝と御長寿をお祈り申し上げます。 合掌

◇ 白濁一七十 (砥部町)

月日のたつのは早いもので、退職して十三年を経過しました。

ボケ防止と思い、県生涯学習センターも近くのため、数年歴史講座等を受講しており、新しい友も得ています。

健康保持については、毎日一時間程度のウォーキングと体操をし、時折、双眼鏡でレンズの外を見るのも楽しみます。

最近では、神経痛に悩まされる日が多く、困っている今日この頃です。

◇ 住友 政雄 (山川町)

健康に感謝し、退職後は山林の手入れに追われる中、趣味も広く、日本画・花鳥風月・宗教の仏画に打ち込む傍ら、早朝テニス・ゴルフ・そして五年前入会した詩吟では、昨年五部門の予選を通過し、四国大会へ出場、入賞した。

野菜は全て自給自足、カレンダーには予定がぎっしり、一週間がアツという間に過ぎる。死ぬために懸命に生きる矛盾の中で、生きている事の喜びを貪欲に味わいたいと思っ

ている今日この頃です。
皆さんのご健康を祈ります。

◇ 撰津スミ子 (八幡浜市)

退職して十四年目、やっと世間の風にも馴染み、ボランティアでゴミの整理をしたり、昨年から福祉委員となり、給食サービス等のお手伝いをしております。

家では、蜜柑を少々作り、十一月〜十二月は蜜柑採りに精を出し、他の月は、趣味の生け花や皮工芸を楽しみ、俳句は苦しみながらも、新しい友達との出会いが嬉しくて励みつつ、元気である事に感謝して、日々を過ごして行きたいと思えます。

◇ 田岡 博子 (高知市)

会員の皆様お元気ですか。月日の経つのは早いもので、退職して十一年になります。

平成五年には高速道が南国から伊野まで延びるため、旧の住居が立ち退きになり、大家族八人が横浜ニュータウンに引っ越しました

がそれは大変でした。
新住所に移って六年になり、一昨年九月からは長男がコンビニを初め、六時から二十四

時までの年中無休です。私は早朝五時に主人と一緒に店に行き、開店準備をして十時頃までレジなどして毎日元気で頑張っています。

◇ 高原 博 (那賀川町)

S五十五年公社退職、本年四月に八十二才を迎えました。篤志解剖全国連合白菊会入会S五十年、囲碁免許二段S五十八年、弓道三段免許S五十二年。囲碁とグラウンドゴルフ、散歩は毎日。徳島市内在住の次男が、週一・二回顔を見せてくれるので、曾孫達とも逢うことが出来何よりの楽しみです。

◇ 武内 和子 (高知市)

主人が逝って一人になり、またペンを執って詩を書いています。ペンネームは門和子。若い頃、電通新聞に投稿した詩が没となったものの、選者関根弘のアバンギャルド詩論に引用され、雑誌「現代詩」に掲載されているとの報で、松山市内の本屋に出向いたのも思い出です。

三一書房の青春の文学にも載りましたが、高知新聞の文芸欄に出している方々は最高令が九十六才。詩は青春の文学とは去えなくなりました。

◇ 武口 忠弘 (上板町)

退職して十四年余りが経過しました。退職と同年に医師から高血圧症と診断されて以後、病院通いが続いています。これがため、毎日一時間程度の散歩を日課と定めて実施しております。

今年、結婚五十年にあたり金婚式激励会への出席、愛知県に住む初孫の結婚式などあり、多少忙しくなります。

好きだった魚釣りもやめ、釣道具は知人に分配し大変喜ばれた。
今は、裏の畑で野菜作りに励んでいます。

◇ 田中 福市 (多度津町)

退職して二十年、喜寿も過ぎれば身体の悪い処がなくても老人になったような気がいたします。減反の田を畑にして野菜を作り、近所に配ったり、庭の手入れをするのが日常の仕事になっております。

幸い、往年の暴飲を引き継いで、今も毎日ビール一本余りを晩酌としております。よく行った内外の旅行も最近は減りました。いづれにしても、これからは身体に気を付けて余生を静かに送りたいと思えます。皆さんもお元気で過ごして下さい。

◇ 田中 光雄 (松山市)

第二の職場を終えてもう十一年です。身体の方、ガタが来つつはありますが、ま

ずまずかと思えます。隣地で少し菜園をやっています。もとの土質も悪く、多くの肥料、手間がかかりますが良い汗かいています。

温泉が近く、歩いた後はいい湯を浴び、健康法の一つともなっております。

現在、老人クラブの会計担当二年目ですが、退屈しない程度にアレコレと仕事はあるもの、楽しくやっています。

◇ 常安嘉代子 (綾南町)

「私は今」楽しく拝見いたしております。一緒に仕事をした方々の顔が懐かしく思い出されます。

退職後、食べる事が好きな私は、若いお嬢

さん達に混じって料理を習ったり、英会話教室に通って、覚えの悪い頭にいらした事もありました。

最近では、年二〜三回の旅行を自分で計画し実行しています。

たまには病院との付き合いもありますが、これからも適当に頭と体を使って楽しく過ごしていきたいと思っています。

◇ 戸井 和夫 (松山市)

退職してから十七年。退職したらすぐ北海道を車で走るのが夢でした。地図とパンフレットを頼りに家内と走ってきました。

昨年は、マレーシャ・中国長江下り・インドに家内と行きました。それぞれに面白い旅でした。

五年前、新松山空港道の建設で家が立ち退きになり、大変に難儀な目に会いました。人生は一寸先は闇で、いつ何があるかわかりません。

野菜作りと果樹園とダンスとカラオケをしています。一日一日を楽しく過ごしています。

◇ 豊田 清栄 (松山市)

退職して早十五年、第二の職場も二年前にやめ、現在は、息子二人が東京と大阪で生活しているので、家内と二人でのんびりと暮らしてあります。

幸い、たいした病気をすることもなく、午前中は町内のゲートボール仲間と遊んでおり又、月二回はOB仲間とのゴルフで、親交を深めるとともに気分転換にもなっております。

町内の老人倶楽部の行事にも参加し親睦を図るとともに、今後は二十一世紀を楽しみに健康に留意し頑張りたいと思っております。

◇ 中村 文子 (坂出市)

退職して二十年余り。最近では、お医者様と仲良く付き合い乍らの毎日です。

主人も、一昨年は心臓の手術で大変でしたが、現在は、元気で海事代理士の仕事を続けております。五年前、長女の家族と二世帯住宅を建て、お互いに好きな事を言い乍ら、何とか仲良くやっております。

退職後、婦人会の役員を四年、自治会の役を十四年続け今年三月やと引退できました。趣味は、お花が好きで、若い頃からの生け花と、季節の花作りを楽しんでいるこの頃です。

◇ 長嶋 功 (高松市)

長寿手帳を交付される年令になり、改めて健康について考えさせられます。

今迄は大きな病気もせず(七才の時中耳炎・六十才を過ぎて左眼白内障の手術とヘルペスになった)過ぎた。

こちらからも健康には一層の注意をして行きたい。本会報が皆様のお手元に着く頃には、高校野球も甲子園目指して地区予選が行われていることでしょう。

私もその頃は、青天下で水田の水管理の毎日といったところです。

◇ 西岡規乃武 (松山市)

昭和六十三年に退職してから入院三回、手術二回、その後快調。

娘二人は県外居住。外孫が六人居たが一人は小児癌で他界。現在、妻と二人暮らし。

盆栽・水彩画・民謡・詩吟を楽しみ、時間があればテニスで汗を流し、帰りは道後温泉へ。

最近、世界遺産に興味を持ち、昨年十月〜十一月中国へ、今年三月ヒマラヤへ。健康は最高の幸福と思つて、心のおもむくまま、好きなようにくらしつています。

◇ 野中 正雄 (松山市)

退職して十七年目に入りました。四年目に胃の手術をしてから、体調がすぐれず、慢性肝炎・肝硬変と順を追って、今日に至っています。体力の限界に挑戦とばかり、いろいろ試行錯誤の日々でしたが、体力の衰えは如何ともしがたく、ゴルフ・釣り等、夢のまた夢です。

今は、在職中に始めたサツキの手入れに、「明日出来ることは、今日やらない」との女房の声を背に余念がありません。健康が第一を実感している毎日です。

◇ 林 實 (高知市)

皆さんお元気！ 第二の職場も卒業して早五年、光陰如矢を実感している昨今です。

少しはゆったりと思いつつ根っからの貧乏性でしょうね。本年も畠仕事などを放棄して、県議・市議選で約四カ月の下働き、生き生きしていたとか(友人雀)。

通年は畠仕事(雑木伐採・草刈・茶摘も手のもの)、孫の遊び友達、暇を造って麻雀そして競輪競馬(百円チャラチャラさして)これじゃ光陰如矢も当り前かも。今年中に日高村へ居を移す積りです。

◇ 林 亮一 (徳島市)

若葉薫る好季節となつて参りました。S五二年五月退職以来二二年が過ぎ去りました。

退職後四、五年間NTTにて種々のアルバイトでお世話になり、現在八十路の齢を重ねて居ます。

幸いにも健康に恵まれ、元気で忙しい毎日を送って居ます。犬の運動を兼ね、吉野川の堤防を朝夕散歩、家庭菜園の手入れ、草取等に精を出して居ます。

春秋の好季節には、車に道具を積み近くの釣場へ行って居ます。

電友会の皆様の健康を念じ再会を待って居ます。

◇ 日高 達一 (松山市)

鳥獣や樹木の生き物は、生きる為だけに生きていくようだ。考える力を余分に持っているもの、人間は生きようとする本能に基礎を置く生き物の一つには違いない。

だから、人生の苦しさのあまり、或いは逆に暇を持て余しているときに、人間は何の為に生きるかなど考えることがあっても、結局は生きることに執着する。これは大切な本能だと思ふ。

だから私達も生きていられる間は、日々を面白く楽しく生きようではありませんか。ゴルフやっています。

◇ 藤田 正男 (松山市)

昨年、電友会から喜寿の祝いを受けたのに茫然と生きていて申し訳なく心痛む。

省みれば、昭和十三年三月、初めて広島通信局の辞令により、広島郵便局へ出向を命ぜられ、昭和十六年三月、通信省より任官の辞令を受けた。

長く続いた通信省も運輸通信省・内閣と変遷し、戦後復活した通信省・電気通信省・日

本電信電話公社・NTTと移り、今年七月には、四分されるとか。

時の流れについてゆけない進展さに、老いを感じるこの頃は何か淋しい。

◇ 堀江 勇 (石井町)

「とよのか」の親株から育てた苗約百株を植えたのが良くできて、甘い大粒の苺が毎日採れる。

去年さっぱりだった桃と柿、ブドウが今年は豊作模様、摘果や剪定、施肥が下手なので隔年結実となってるが、一向苦にならぬ。

敷き藁が無いので梅雨に西瓜がよく腐る。雨よけをしては？とトンネルを掛けてみた。土いじりや庭木の手入れのほかは、ゴルフの練習と家内のお供のカラオケが主な毎日。

◇ 松尾 礼徹 (香南町)

電友会に入って七年、この欄は見る側だと思っていたのですが、この四月から投稿側にも廻りました。

四月から「主夫」をすると挨拶状で宣言をしたものの、女房に隙間がなく、ようやく糠床にそれを見つけました。

まだ床が若く、材料と時間にノウハウもなく、女房の評は、亭主流のカラオケで、継続は力なりと、評に耐え、毎日かきまわしております。

◇ 三崎 歌松 (高松市)

私は昭和六十一年に退職後、ビル管理士としての仕事を現在まで続け、七十才をメドに頑張っています。

週末は、家内と畑で野菜作りや十数種の果樹を植えて、手入れ等しています。

収穫はまあまあで、折にふれ、都会暮らしの息子達へ送る程度です。

なかでも、珍果とやらに至っては、植樹後四十五年経過するも未だ収穫ゼロ。

息子二人・娘一人・孫八人で脛が細りますが、子は国の宝と感謝し、大事に思っております。

◇ 宮前 明 (三木町)

NTTプラザ高松の支配人として、在職中入会しておりましたライオンズクラブを、退職後、地元の三木さぬきライオンズクラブに転籍し、ライオン歴二十七年になります。

現在、クラブ第二副会長を務めており、来期第一副会長、二〇〇一年〜二〇〇二年会長職を受けるべく、地域社会に対するアクティビティ、特に環境保全対策の取り組みを勉強中です。

近づく古希を元気で迎えたいと念じております。みなさんお元気で。

◇ 森 常夫 (砥部町)

早いもので、退職してもう十八年が過ぎました。其の間、運転免許を取得して、あちらこちらと乗りまわして居ります。

鹿児島・長崎・鳥取・南紀州等、西日本は殆ど走りました。もう十萬軒以上は走っている筈です。車の運転がなんでこんなに好きになったのか自分でもわかりません。

もうすぐ七十五才になりますが、まだまだ乗るつもりです。いつまで乗れるか分かりませんが、体を大事にして続けるつもりです。(13ページへ続く)

テルウェルだより

しまなみ海道99バスツアー実施(愛媛)

愛媛支部では、今治市と尾道市を結ぶ世紀の大プロジェクト、瀬戸内しまなみ海道の開通を記念し、宇和島・今治・松山・新居浜地区のNTTグループOBを対象として日帰り観光旅行を計画しております。

五月二十七日には、宇和島地区のOB四十四



名の参加をいただき実施しました。

当日は、前日の大雨に一喜一憂したものの暑くもなし、寒くもなしの旅行日和に恵まれ

て、世界一の来島海峡大橋(九六〇十一千五百五十一千五百七〇の三吊橋)の眺望と瀬戸の多島美を堪能しながら広島県生口島へ。平山郁夫記念美術館を鑑賞、世界一の斜張橋多々羅大橋(一千四百八十)を約五〇分でウォーキングした後、源頼朝・義経兄弟奉納の国宝の鎧などを多数収蔵している大三島大山祇神社に参拝するなど、楽しい一日となりました。

今後、九月十七日に今治地区を対象に「しまなみ海道・橋の旅」(定員四三名・参加費三千円予定)を計画しております。

また、松山地区は、十月二十日に、新居浜地区は、十月二十八日で計画を進めておりますので、多数の参加をお待ちしております。

▽お問い合わせ先

テルウェル愛媛支部、福祉・共済担当

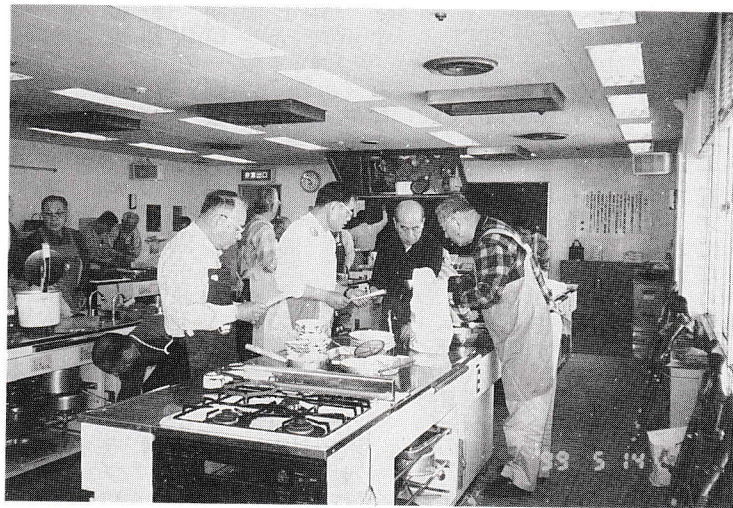
電話(〇八九一九三二一九九五)

「男の料理教室」開催(香川)

平成十一年五月十四日、高松市民文化センターにおいて、本年度第一回目の「男の料理教室」を開催しました。

参加者は三五名で、今回の教室では「えんどうご飯・お好み串カツ・冷しのっぺい」の三献立について講師の先生から説明を受けながら、自分たちで実際に作り、昼食代わりに食べたが、「お好み串カツ」については、回数を重ねる毎に手際よく、しかも食欲をそそるきつね色にこんがり仕上げられるグループ、始めての参加で、油の温度が上がりすぎ四苦八苦するグループ等いろいろで、できあがった料理を食べる頃には、参加者全員和気あいあいに美味しくいただき、次回の開催を心待ちに

ちにしつつ散会しました。なお、本年度の「男の料理教室」は、七月・十一月及び来年二月に予定していますので多数の参加をお待ちしております。



史跡を訪ねて彦根へ(徳島)

薄曇りの五月二十三日、NTTグループ退職者文化活動の一環として、今年、希望の一番多かった、歴史の故郷、彦根城・安土城見学ツアーに出発しました。

一行百四十名は、五台のバスに分乗し、明石大橋を渡り、彦根・安土に向かいました。

年配の方が多かったので、少し遠い所に決めてしまったかと心配しましたが、全員、大張り切りで、時代を越えて感動し、歴史的な記録をメモったり、三々五々、お城をバックに記念撮影して、信長・秀吉の時代に溶け込んでいました。



夜になると、さすがに少し疲れましたが、明石大橋の美しいイルミネーションが旅の疲れを忘れさせてくれました。

高齢者叙勲
勲五等瑞宝章 有馬 文雄様 (丸亀市)

「 県内ボランティアグループ 訪問ボランティア実施へ (高知) 」

六月十日、県内六つのNTT-OBボランティアグループが一同に会し、二年ぶりの交流会を開催しました。

武井高知支部長の挨拶、西地域事業本部四国担当の上村課長の「西地域の社会福祉部門の動き等」について報告のあと、各グループの取組状況について発表を行いました。

環境保全を中心とした各グループの取組に対し、自分のグループで出来そうな取組について質問するなど、活発な質疑が行われました。

テルウエルから提起された、環境保全のボランティア活動以外に、仲間を訪問する「訪問ボランティア」活動を、新たに活動メニューに加えたらとの提案に対し、質疑の結果、全グループが準備の整った次第、活動を開始することで一致しました。

会議終了後、「暑くなったのう」「おまんどうしゅうぜよ」と会話も弾み、ビールで喉をうるおし、久しぶりの懇親会で旧交を温めました。

(11ページから)

◇ 森 駿二良 (阿南市)

退職後二十年が過ぎました。十年前に胃、三年前には心臓手術と、二度生死をさまよい今も通院をしています。無理をしないように注意しています。

会合などには、出来るだけ出席するよう心掛けています。拙宅は、自然にめぐまれて、五・七・五の文字(俳句

川柳)で晴耕雨読の日を送っています。

◇ 和氣 康己 (松山市)

「私は今」の毎号、なつかしい人々に出会えてキュンときています。

さて、「私の今」です。NTTを退いて三年、テルウエルから八年になります。

古希ともなり、順調?に「老人力」がついてきています。子供が独立したあと、妻(元気で小旅行等楽しんでいきます)と二人で、まずは平穏な暮らしです。

囲碁道場通い、息切れに悩まされながらもときたまのゴルフを楽しんでいます。

今年は、なんとも楽しみな野村阪神、相変わらずのトラキチもやっています。

◇ 往田 猛 (松山市)

退職後一二年は何かと忙しく、慌ただしく過ぎていきました。

その後は、自由な時間も多分に出来、今では長年の夢であった自作の自転車でサイクリングを楽しんでいます。毎朝は十五km、昼間は気が向けば今治、大洲などへ出かけます。おかげで心肺機能も高まり、現役時代より体力がついた様な気がします。

来年は、四国一周・九州一周を計画しています。

▽次の方は、次号とさせて頂きます。原稿をお寄せ下さいました皆様に、厚くお礼を申し上げます。

- 浅津憲三様 石元 五様 谷口好数様
- 中川文字様 星合信一様 松田 悟様
- 松本幸雄様 三浦典一様 村上 進様
- 森本貞子様 渡部鬼土生様



サークルだより

民踊すみれ会 (高知)

池内 寿子 (高知市)

私達のサークル「民踊すみれ会」は、昭和五十四年十月の発足です。もうそろそろ二十年の歴史を終えたことになります。思えば、このサークルの生みの親であり、長年お世話になった宇田芳子会長が、平成六年に他界されたとき、サークルの存続が危ぶまれましたが、私達会員一同の熱意と努力により、引き続き活動を続け、現在に至っております。

現在、会員数は十三名で、毎月一回OBサロン「おびやまち」でお稽古をしております。いうまでもなく、民踊は民謡をさまざまな踊りで表現するもので、なかなか奥が深く、同好者も増えつつあると聞いております。発表の場は、あまり多くありませんが、かつて、平成七年五月、電友会総会後の懇親会で、会員四名が余興として出演したことがあります。その時、満場の皆様から拍手と称賛の嵐を頂戴したことを、今でもはつきりと覚えており、機会を多くとらえて、励みの糧としたいと思っております。

なお、民踊は、美容と健康に大いに役立つと同時に、ボケ防止にもなると確信しております。OB・OGの皆様も、是非やってみてはいかがでしょう。

えひめ歩こつ会

北条ウォーキングを実施

鈴木 和男 (松山市)

五月十二日、快晴に恵まれ、三十一名の参加者が風早の里から、雄甲山・雌甲山をウォーキングしました。

朝九時三十分にはJR粟井駅に集合し、そよ風に吹かれながら、河野氏発祥の地、善能寺へ、小休止のあと、いよいよ標高二百三十八メートルの雄甲山へ。段々、道が狭くなり、頂上にさしかかると、急斜面に難渋しました。

頂上からは、瀬戸内の素晴らしい眺めを満喫しましたが、下りがまた大変。女性軍の中には、滑り落ちないように男性軍に手をひいてもらったり、麗しい光景が見られました。山のふもとで昼食をとり、天然記念物イブキバクシンの大木を見学したりして、午後二時に粟井駅に帰着しました。

約四時間のいのちの洗濯に、参加者全員満足の様子でした。



表紙の言葉

ひまわり

井上 睦雄 (松山市)

ひまわりは、日光を特に好む陽性植物で、夏の代表的な花である。

太陽を追って花が廻ると言う俗説があるが実際は殆ど動かない。ひまわりは明るくて会員に相応しい花だ。

温泉郡重信町の「ライン館」でコーヒーを飲んだ帰りに写した。

俳句

眉秋俳句会(徳島)

悠久の中の一齣去年今年

青山 清澄

蝌蚪の影揺れて風のある水面

角野 清剛

指先に木の芽を摘みし湿りあり

加地 道子

書初の燃の一字に夢託す

中島 和子

しとしとと雨のさびしき梅若忌

原 雅峰

身の内も染まりておりぬ花の下

日開 桃花

酒の瓶積み上げ松の内終わる

森 光葉

帰りゆく冬日の影を伸ばしつつ

湯村二条子

一病を忘る幸せ去年今年

吉田ふじ子

老いてなお子離れできず春炬燵

和田とも子

時に不図花の万朶に居る孤独

長島 正雅

平成十一年一月〜四月の例会より

(通回二四七)

川柳

投稿句

矢野 功 (今治市)

亡き父の歳に近づきカメラのむ

敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

氏名	逝去年月日	幹歳	葬の地
松本 務様	10・12・28	78	高知市
青木 常吉様	11・2・1	86	三田市
石田 千好様	11・4・12	74	高松市
須賀田初子様	11・4・13	84	松山市
山本ツタエ様	11・4・16	70	今治市
服部 昭三様	11・4・17	68	赤岡町
横田久馬雄様	11・4・22	84	松山市
荏野 孝様	11・4・27	83	内海町
市原 道之様	11・4・28	59	土佐市
片桐 正信様	11・5・4	75	松山市
東条 公子様	11・5・5	66	徳島市
大隅 高雄様	11・5・12	79	松山市
阿部 善一様	11・5・13	63	大西町
澤谷美津子様	11・5・14	69	高知市
鎌田 元夫様	11・5・19	88	坂出市
羽藤 一宏様	11・5・27	55	北条市
松本 道春様	11・6・1	73	松山市
藤本 勝様	11・6・18	82	松山市

物故者叙位叙勲

正六位勲五等瑞宝章	吉村 正雄様
正七位勲六等瑞宝章	藤井 博様
従五位勲五等瑞宝章	占部 優様
従六位勲五等瑞宝章	久保 雅照様
正七位勲五等瑞宝章	織田 鶴一様
勲六等瑞宝章	内田 春雄様
正七位勲六等瑞宝章	大原 正峯様

編集後記

七月一日新生NTTがスタートしました。電友会をとりまく環境は変わりましたが、会活動の理念は不変です。全会員が力を合わせ、平成十一年度の施策を推し進めたいと念じております。

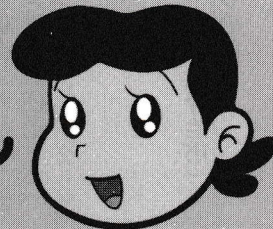
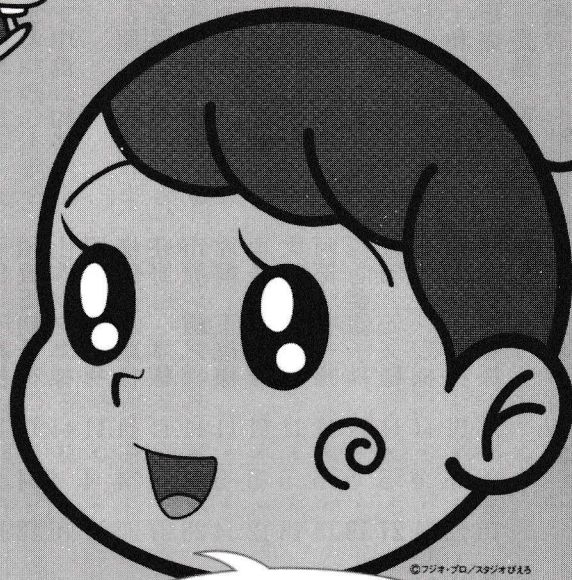
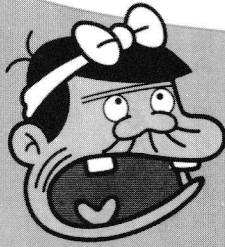
・八年間お世話になった愛原 章氏が退職され、六月から村尾 守康氏をお迎えしております。宜しく願います。(松本)

原稿募集

◇近況短信(二〇〇字程度)
◇俳句、川柳、短歌
◇サークルの活動状況等(写真可)
▽切は八月末日です。皆様からの原稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第一〇七号
発行 平成十一年 七月 一日
編集 電友会四国地方本部
松山市一番町四一三
NTT愛媛支店内
NTT電話 〇八九一九三六一二〇二三
印刷 NTT四国電話帳株式会社

インターネットをはじめたいんだが、
どうしていいのかわからないのだ!



はじめちゃん
どうかしら?

ISDN
はじめちゃん

NTTにまかせれば
いいんだよ。

おまかせ①

○NTTは、インターネット
接続に必要なすべてを
そろえてお届けします。

おまかせ②

○面倒な設置や複雑な
配線もおまかせ。

おまかせ③

○お宅でインターネットの
立ち上げまで行ないます。

おまかせ④

○使い方もマスターできて安心。
インターネットが便利で楽しく
使えるセミナーにご招待。

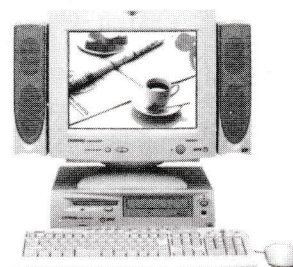
NTTなら、あなたは申し込むだけ。まったく初めてでも、インターネットがすぐ始められます。

初心者あなたへ、インターネットのすべてをこれひとつで。

NTTのインターネット 接続サービス OCN ダイヤルアクセス	+	NTTのISDN iNSネット64 iNSネット64 ライト	+	インターネット アクセス用パソコン サザンクロスPC-3304 +DSU	+	大きな安心 セットアップ &7ターゲア	+	いまならさらに インターネットセミナー ご招待券
---	---	---	---	---	---	---------------------------	---	--------------------------------

いま始めるなら、**198,000円**から!

NTTの **おまかせメニュー**



サザンクロス PC-3304